

◆和光大学同窓会 2021 年第 9 回総会議案書◆

2021/11/06（土）16：00～18：00 byZOOM

-
- I 規約改正
 - II 2020, 21 年度事業報告
 - III 2020, 21 年度決算及び、監査報告
 - IV 2022, 23 年度事業計画
 - V 2022, 23 年度予算
 - VI 2022-2024 年度（第 5 期）役員の選任
-

※2020 年度事業報告・2020 年度決算は昨年の第 8 回評議員会で承認済みのものです。
2020 年度は総会が無かったので、2021 年度の総会で報告する必要があり、掲載しています。

会員のみなさまへ

和光大学同窓会会長 打越 雅祥

和光大学同窓会は設立から10年目を迎えることができました

これまで同窓会を支えてくださいました、会員のみなさま、半谷先生はじめ和光大学のみなさま、関係者のみなさまに心よりお礼申し上げます。

今後とも変わらぬご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2020年1月に日本で最初の新型コロナウイルス感染症が確認されてから、2年余り、私たちの生活は、外出を禁じられ、我慢と忍耐を強いられ、それでも感染拡大の波は止まらない状況です。

同窓会幹事会も、慣れないZOOM会議での開催で、手探りながら話し合いを続け、今日、ようやく第9回総会を開催することができました。

このようなコロナ禍の閉塞状況のなかでも、同窓会として「学んだこと、よかったと思えること」がいくつかありました。

一つには

オンラインを使った活動に、可能性を感じました。日本国内や、全世界の和光大学関係者の方々と画面を通して交流できるということ。対面でのコミュニケーションの大切さも踏まえながら、今後はハイブリッドで、若い世代やメディアに詳しい方々の助けを借りて、オンラインの可能性もどんどん広げていきたいと考えています。

作品展「おかがみ」も、実行委員会がぎりぎりまでオンライン開催を検討していましたが、残念ながら開催延期となりました。

二つには、

在学生への働きかけを、もっとしていかなければならないということです。

同窓会は、和光大学の「伝統」を次の世代に送っていく活動です。

今年、3月に卒業生向けの同窓会参加呼びかけを行いました。が、じゅうぶんな成果を得られませんでした。反応がなかったのです。

このことから、卒業する前の在学生に対して、同窓会の存在を知ってもらう、活動にも参加してもらう仕組みを作っていかなければならないと考えます。

三つには、

ホームカミングデーの開催です。大学の企画に、全面的に協力し、たくさんの卒業生が集えて、オンラインでの参加も可能とし、在学生も加わる内容をみなさんと一緒にこれから考えていきたいと思っています。

そして最後は、

話し合いを重ねていくこと。同窓会と学長(事務局長)との懇談会を年間数回開催し、定例化できたことに成果があったと思います。

さまざまな事業を実現し、活動していくためにも同窓会として安定した財源が必要です。引き続き、会費徴収について、大学と話し合いを継続していきたいと思っています。

苦しいこの状況こそ、同窓会の真価が試されます。みなさんと協力し合い、「生き抜く」のではなく、「生

き合う」世の中をともに考えていきましょう。

これより報告、決算等の本会を始めたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。
以上

I 規約改正 ※別紙参照

【改正理由】

1) 前文・第2章（会員の種類および資格）

在学生、現職教職員含め、和光大学に関わる全ての人を会員とし、幅広く参加できる、開かれた持続可能な組織を目指すため、「準会員」の項目を削除し、在学生、現職教職員を「正会員」とする。

2) 第1条

住居表示変更のため

3) 第3章第7条7

顧問の職務内容を明記する。

II 2020年度事業報告（2020年第8回評議員会承認済み）

1. 第8回総会の開催

2019年11月3日（日）10時～11時30分 和光大学A棟4階第2会議室にて、半谷副学長、酒井事務局長はじめ、大学事業室職員同席の下、開催しました。2019年度の活動報告を経て、2020年度の事業計画が承認されました。また、第7回総会で規約改正も承認されたことによって、総会が2年に1度の開催となること、役員は、任期が3年から2年になり、総会毎に改選されることを改めて確認しました。

当日午後から開催される和光大学ホームカミングデー2019に合わせて、多くの方が総会に参加してもらえると幹事会では考えていたにもかかわらず、参加者は少なかったのですが、活発な意見交換を経て、無事に総会を終えることができました

2. 大学との連携

昨年度から、同窓会担当の副学長と同窓会幹事メンバーとの「副学長懇談会」が定例化しました。定期的（2～3か月に1回程度）に、大学や学生の状況を聞いて、かつての学生と今の学生の違いを実感するとともに、同窓会の支援の在り方を考える良い機会になっています。場合によって学長や、大学事務局長の同席もあり、お互いに理解が深まっていくのを実感します。今後も、大学との連携には力を傾けていく所存です。

副学長懇談会をきっかけにして、和光大学ホームカミングデー2019に、同窓会が卒業生による人形劇団公演、腹話術とけん玉のパフォーマンス、災害用トイレの紹介といった企画を提供し、協力しました。また、経済学科のキャリア支援講座の講師に卒業生を紹介しました。

3. 同窓会の財政

同窓会のお願いに応えて会費や寄付をお寄せいただいた方々に心から感謝します。

設立総会で、和光大学入学時に永年会費2万円を納入してもらうことを決めて、7年が経過しましたが、入学時の会費徴収が実現していないため、活動費を寄付に頼っている状態が続いています。

同窓会報第6号発行に際し、改めて会費納入のお願いをしました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月の入学式は行われず、新入生含め、在學生は新学期になっても一度も大学へ来られていない状況で、例年5月に行っている新入生への同窓会案内および同窓会費納入のお願いも実施できませんでした。

他方、北海道支部、九州支部の会費納入記録のない方に会費の納入のお願いをさせていただきました。これらの方々を含めて、2020年度は62名(2019年度は142名)の方が会費や寄付を納入してくださいました。

2021年度の予算がなんとか組めているのは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2020年度後半から当面は、対面での会議、講座が実施できないからという残念な状況です。

同窓会の活動をしっかり支えていくためには、何よりも財政基盤の確立が求められています。引き続き、会の財政を支えていただけますよう、お願い申し上げます。

4.卒業・入学にあたっての行事への関わり

2019年度修了証書授与に伴う祝賀パーティ、2020年度入学登録は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施されませんでしたので、同窓会からのメッセージや装花も贈ることができませんでした。

5.五つの貢献事業

5-1.卒業生への貢献

❖地方支部

- ・北海道支部：2019年10月26日に予定されていた第3回交流会は都合により延期となりました。
- ・沖縄支部：すでに結成を目指して準備会が持たれています。同窓会としても早期の設立に向けて支援していくつもりです。

❖和光大学同窓会作品展「おかがみ」

芸術学科の卒業生による実行委員会を立ち上げ、和光大学同窓会会員資格のある人なら誰でも参加できる和光大学同窓会作品展第6回「おかがみ」を2019年11月2日から11月6日まで、和光大学内パレストラ4階展示場にて実施しました。出展者36名(現役生2名含む)で、実行委員会の活動や作業は手馴れてきました。他方、新たな出展者の発掘が課題となりつつあります。全作品を掲載したカタログを作成しました。

5-2 大学への貢献・5-3 学生への貢献

❖教職支援講座

大学が2019年4月から教学支援課に開設した資格課程サポートセンターからの協力要請に沿って前向きに取り組んで行こうとしていたところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために足踏み状態です。

❖福祉の仕事ガイド

昨年度（2019年10月5日）に実施した「子育て支援・子ども家庭福祉をテーマに、30代の卒業生4名を中心としたシンポジウムは、芸術学科の現役生にデザインを依頼して作成したチラシやポスターを学内、地域に配布し、大学の協力を得て大学内のSNSに案内を出す、保育コースの学生にアルバイトをお願いして託児の体制を整えるなど、参加者を募る努力をして50余名の参加を得て好評でした。今年も・・・なのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学内で集まることが難しい状況です。オンライン講座等、開催方法の見直しを検討しています

❖和光大学学生研究助成金への寄付

同窓会時代から続いている和光大学学生研究助成金への寄付を行いました。金額は昨年同様10万円としました。

❖学生支援募金

学生支援募金に寄付をお寄せ下さった皆様方にはたいへん感謝しております。

親の介護離職や、失業などのかつてはあまり考えられなかったような理由で、卒業に必要な単位を満たしながら、最終学年後期の学費が納められず、中退していく学生が毎年いると聞いたことがきっかけとなり、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の気持ちで企画した学生支援募金です。一人分の最終学年後期学費にもまだまだ手が届きませんが、寄せていただいた額は計¥275100となりました。

集まった募金については、和光大学の奨学金制度への寄付のような形も含めて皆様のお心が十分に生かされ、学生の助けになる用途を今後も考えていきたいと思っています。

5-4.地域への貢献・5-5.社会への貢献

2019年11月3日（日）和光大学ホームカミングデーに同窓会が企画協力した人形劇団「ひばりあむ」公演、腹話術とけん玉のパフォーマンス、災害用トイレの講演会を地域へ案内し、地域の方が親子連れでたくさん参加してくださいました。

6. 同窓会事務局

毎週1回事務局長が、同窓会事務室に出向き、大学や、卒業生との連絡、幹事会の活動支援に努めると同時に、副会長から事務局補佐を1人立て、事務局の仕事をシェアしました。

また、幹事会メンバーの中から、HPの整備や更新専門の従事者をお願いしました。

活動の広がりにつれて事務局の仕事は増加していますが、2020年度後半は新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での幹事会を行うことができない状況下、オンライン会議ツールを導入し、幹事会を行いました。

7. 和光学園との連携

和光学園理事会に前田令夫副会長が参加しました。

和光学園評議員会に卒業生代表として参加してきた小泉千津子幹事、吉村景理幹事、中島三枝子会員が勤続10年で和光学園から表彰されました。

8. 広報活動

ネット世代と紙媒体世代の両方に発信することをこころがけました。

HP：同窓会に寄せられた文章、催し物を掲載し、会員の活動を広く紹介することに努め

ました。作業を幹事メンバーが担い、更新を随時行いました。

会報：2020年9月中旬にA4版12ページの同窓会報第7号を発行し、大学の協力を得て卒業生、旧教職員、在校生に発送しました。

9. 活動日誌

幹事会 2月1日・2月22日・8月29日 9月12日・9月26日・10月3日
副学長懇談会 2019年11月30日・2月22日
学長懇談会 2020年10月17日
評議員会 書面で11月中に実施予定
和光大学ホームカミングデー2019 企画協力

2021年度事業報告

1.第8回評議員会の開催

2021年度は総会を開かない年でしたので、総会に準ずる役割を評議員会に担ってもらう予定で、準備をしていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、今まで当たり前だった対面での会議が難しくなりました。

このような状況で会議を開催するにはどういった方法があるのか？幹事会で話し合い、書面議決という形で実施したところ、対面で開催していた昨年までよりも多い、10名の評議員の方の参加があり、2020年度活動報告、決算案、2021年度事業計画、予算案が承認されました。顔を合わせて話し合うメリットはもちろんありますが、多忙な生活の中での会議のあり方を考える良い機会になりました。

2.大学との連携

定例化してきた、同窓会担当の副学長と同窓会幹事メンバーとの「副学長懇談会」ですが、副学長だった半谷先生が2020年12月に学長に就任されたため、「学長懇談会」として継続することになりました。

学長として多忙にもかかわらず、同窓会との時間を作って下さる半谷先生に感謝しつつ、大学と同窓会が互いに理解を深めあい、ともに手を取り合って和光大学の発展に寄与する大切な機会として今後も定期的で開催していくよう力を傾けていく所存です。

3. 同窓会の財政

2020年9月発行の会報第7号に同封した会費納入のお願いには、多くの方々に応えていただきまして、ありがとうございました。おかげで、2022年度の予算を立てることができました。

設立総会で、和光大学入学時に永年会費2万円を納入していただくことを決めて、8年が経過しましたが、大学による入学時の会費納入の実現は大学を取り巻く諸々の状況により、いまだ解決していません。

幹事会としては、設立総会で決めた同窓会費の入学時納入を尊重し、追及しつつ、当面、活動費を寄付に頼る状態を見据えて、活動内容を厳選して実施していきます。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学式は行われず、例年行っている新生への同窓会案内もできないでいたところ、半谷学長のご提案で2020年度卒業見込み生へのアプローチをする機会が得られ、2021年1月末に2020年度卒業見込みが出た方々へ同窓会案内と会費納入用の振込用紙を送付しました。

2021年度の新入生に対しては、従来通り同窓会案内を送付しました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2020年度後半から、対面での会議、講座が実施できないなど、従来の同窓会の活動が十分に展開できない状況が続いています。

以上のような事情ですので、会員の皆様におかれましては、引き続き、会の財政を支えていただけますよう、お願い申し上げます。

4.卒業・入学にあたっての行事への関わり

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2020年度修了証書授与に伴う祝賀パーティは行われず、2021年度入学登録は、少人数での分散型で行われたため、同窓会のアピールをする場は残念ながらなくなりました。

5.五つの貢献事業

5-1.卒業生への貢献

◆地方支部

卒業生同士が会って懇親を深めるといふ地方支部活動の要の活動が、新型コロナウイルス感染拡大のため、困難な状況が続いています。オンラインツールの導入により、新しい局面が開けないかと模索中です。

◆和光大学同窓会作品展「おかがみ」

6回を数え、作品制作の目標にもなりつつあった作品展「おかがみ」ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために2021年度(2020年11月)は開催を見送りました。2022年度(2021年11月)も、新型コロナウイルス感染拡大が見通せないため、開催延期とします。

5-2 大学への貢献・5-3 学生への貢献

◆教職支援講座

◆福祉の仕事ガイド

教育、福祉の現場で実際に働く卒業生の講演は、現役生に好評でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、学内で集まるのが難しくなり、オンラインでの開催など模索中でしたが、同窓会の財政問題のための活動内容の厳選を受けて、再考せざるを得ない状況です。

一方、大学の教学支援課資格係内に教職支援担当ができて、同窓会への協力依頼がありました。大学の企画に協力するという形を考えていきます。

◆和光大学学生研究助成金への寄付

同窓会時代から続いている和光大学学生研究助成金への寄付ですが、同窓会2020年度の財政状況が厳しいために、2021年度は見送りました。2022年度も見送らざるを得ない見通しです。

❖ 学生支援募金

学生支援募金の呼び掛けにご賛同いただいた方々から、総額 280,100 円のご寄付を頂戴しました。さまざまな理由から学費が納められずに中退していく学生への支援にと、2017 年度に新設し、将来的には給付型奨学金のような形に発展させたいと構想しておりましたが、同窓会費納入問題の決着がつかない現状のなか、今期をもって募金の呼びかけは終了させていただきます。ご寄付をお寄せ下さった皆様方には心よりお礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました。（学生支援募金を廃止し、残金を一般会計に組み込みます）。

同窓会として、学生を支援したいという思いに変わりはありません。

今般の新型コロナウイルス感染拡大のなか、「生活が苦しい」と多くの学生が実感しています。このような状況において、同窓会では、学生支援募金を活用しインスタント食品等を購入。応援したいというささやかな気持ちとして、大学事務局の協力を得て、本年 4 月、学生に配布いたしました。

今後も、学生へのなんらかの支援策を検討し、進めてまいりたいと考えております。



5-4.地域への貢献・5-5.社会への貢献

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、従来型の対面方式での企画が困難になり、新しい時代に見合った方法を模索中でしたが、活動内容を厳選する対象とし、新たな取り組みは行えませんでした。

6. 同窓会事務局

毎週1回事務局長が、同窓会事務局に出向き、大学や、卒業生との連絡、幹事会の活動支援に努めると同時に、副会長から、務局補佐とHPの整備や更新専門の従事者をお願いし、事務局の仕事をシェアしました。

活動の広がりにつれて事務局の仕事は増加しています。2020年度後半からの新型コロナウイルス感染拡大のため対面での幹事会を行うことができず、オンラインで幹事会などの会議を開き、この会議が定着しています。

7. 和光学園との連携

和光学園理事会、和光学園評議員会に幹事会から代表が参加しました。

8. 広報活動

ネット世代と紙媒体世代の両方に発信することをこころがけました。

HP・SNS：同窓会に寄せられた文章、催し物を掲載し、会員の活動を広く紹介することに努めました。作業を、HP・SNS担当の副会長が担い、更新を随時行いました。

会報：2021年9月中旬にA4版12ページの同窓会報第8号を発行しました。

同窓会案内：2020年度卒業見込み生に対して、同窓会の案内と会費の納入を呼びかけるパンフレットを2020年の年末から2021年の年明けにかけて急ピッチで作し、2021年1月末に郵送しました。この案内は対象読者が明確なので、幹事会メンバー若手が中心となり、若い人たちに響く表現と同窓会ホームページの閲覧につながるような内容を盛り込んだ斬新なパンフレットができました。



パンフレット



HP



FACEBOOK



TWITTER

9. 活動日誌

幹事会 ZOOM を使ったのオンライン会議 11月(2回)・12月(2回)・2月・
4月5月・6月・7月・8月・9月

評議員会 書面で10月に実施

学長懇談会(対面) 12月・2月
(オンライン) 3月

Ⅲ・2020年度決算及び、監査報告 (2020年第8回評議員会承認済み)

※別紙

2021年度決算及び、監査報告 ※別紙

IV. 2022,23 年度事業計画

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、幹事会・評議員会・総会等の会議、その他の講演企画にオンライン会議ツールの導入を推進する。
2. 膠着状態が8年続く同窓会費代理徴収問題を、設立総会での決定を尊重しつつ、現実的な対応を大学と協議する。
3. 五つの貢献事業の内、以下を重点的に取り組む。

A=卒業生：

- ① 第7回・第8回作品展「おかがみ」の開催
- ② 地方支部の設立と支援
- ③ HP、会報などでの卒業生などの様子の紹介を拡充する

B =在校生：

- ① 大学キャリア支援講座・教学支援室資格係への協
- ② 学生支援募金を停止し、残金を一般会計に繰り入れ、現役学生の支援になるような事業を企画する。

C=地域：

同窓会企画（展覧会、公演・講演会等）の地域への公開。

D=社会：

卒業生の社会貢献の紹介

4. 広報活動の充実
 - ① HP・SNS などネット関係記事の更新、アップの定期化
 - ② 会報第9・10号の発行
 - ③ 大学発送物への同窓会文書の同封依頼
 - ④ 同窓会案内パンフレット改定版の作成
5. 同窓会役員の増員・強化
会議のオンラインツール導入により可能となる、地方在住会員（地方支部）の役員就任を推進する。

- ・現役学生の役員への参加の可能性を検討する

6. 事務局体制の強化（アルバイトの活用）

V. 2022, 23 年度予算 ※別紙

VI. 役員候補者

◇幹事候補一覧（第5期・2021年総会～2023年総会前日）

役職	名前	任期
会長	窪田 美加(04D)	2021年総会～2023年総会前日
副会長	前田 令夫(41H)	〃
		〃
幹事	石原 邦彦(45H)	〃
	小泉 千津子(41H)	〃
	佐藤 洋(43H)	〃
	吉村 景理(52L)	〃
	田畑 博(44E)	〃
	木寺 啓幸(44A)	〃
	伊東 達夫(44E)	〃
事務局	柳沢 泰子(54H)	〃
顧問	打越 雅祥(52H)	〃
	大沢 清(45L)	〃

◇評議員候補一覧（第5期：2021年総会～2023年総会前日）

	名前	任期
1	池川 陽子(50H)	2021年総会～2023年総会前日
2	柳下 隆(43H)	〃
3	梅原 利夫(旧教員)	〃
4	奥津 能久(41E)	〃
5	小野 貴史(91H)	〃
6	早川 清(44E)	〃
7	永野 むつみ(43H)	〃
8	岩屋 湊(43E)	〃
9	郡山 昌也(60H)	〃
10	剣持 浩(44H)	〃
11	松澤 晋平(96D)	〃
12	山梨 あき子(63A)	〃
13	吉原 之恵(03X)	〃
14	池川 友一(03D)	〃

◇監査候補（第5期：2021年総会～23年総会前日）

名前	任期
佐藤 みゆき(55H)	2021年総会～2023年総会前日
小谷 幸正(48H)	〃